

第1日目:2020年11月10日(火) 第67回海岸工学講演会スケジュール

第1会場		第2会場		第3会場		
10:40-12:00	1-R1-2	下園武範	1-R2-2	原田英治	1-R3-2	内山雄介
	1	Evolution of High Order Weakly Nonlinear Wave with Bottom Topography Change ○Zuorui Lyu,森信人,加島 寛章	75	海岸侵食対策における長期・広域の地形変化予測のための水深方向沿岸漂砂量分布式の改良 ○野口賢二,加藤史訓,福原直樹ほか	165	東日本大震災津波後の名取川河口塩分変動と汽水生態系回復との関連 ○岩村遼太郎,田中 仁,Nguyen Xuan Tinhほか
	2	波高のみを境界条件とする新しい造波モデルの粒子法型数値波動水槽への適用 ○鶴田修己,後藤仁志,Abbas Khayyerほか	76	沿岸漂砂量の時空間分布の推定 ○武若聡,内堀圭一郎,海老原友基ほか	167	非構造格子モデルを用いた瀬戸内海-太平洋領域における外洋水の挙動解析 中谷祐介,○戸村祐希,西田修三
	IJ02	Development of Multi-directional Irregular Wave Generation for Three-dimensional Navier-Stokes Simulation 岡嶋理功,○有川太郎	78	侵食による新島羽伏浦海岸の崖地の後退とその再現計算 ○梅田天斗,宇多高明,小林昭男ほか	IJ09	Development of regional downscaling capability in STEAMER ocean prediction system based on multi-nested ROMS model ○上平雄基,川村英之,小林卓也ほか
3	Faraday波動場における波浪集中と崩壊過程 渡部靖憲,○小嶋亮太	IJ07	Improving a sediment transport model with hydraulic experimental data to examine effects of vegetation coverage for embankment risk assessment ○山本 阿子,多田 毅,福谷 陽ほか	168	二重数を用いた4次元変分法によるデータ同化の実用性評価 ○永野 隆紀,入江 政安,岡田 輝久	
13:00-14:20	1-R1-3	荒木進歩	1-R2-3	加藤史訓	1-R3-3	佐々木淳
	4	残留泡沫の組織化と合体、消失過程 渡部 靖憲,○野中 拓実	80	3次元DEM-MPS法による初期ripple形成過程の計算力学的検討 ○原田英治,田崎拓海,後藤仁志ほか	IJ10	On relaxation of the influences of treated sewage effluent on an adjacent seaweed farm in a tidal strait ○X. Zhang, Y.Uchiyama, A. Nakayama
	5	多数粒子群の突入による水面波発生解析における固液間相互作用モデルの検討 ○五十里 洋行,後藤 仁志,樋口 優一ほか	79	飛砂も考慮した遠州灘海岸の地形変化予測 ○横田拓也,宇多高明,小林昭男ほか	157	東日本大震災におけるアマモ場の被害実態と津波外力との関係 ○木村 裕行,Anawat SUPPASRI,山下 啓ほか
	6	完全Lagrange型流体-構造連成解析のための改良型陰的弾性体モデルの構築 ○清水 裕真,後藤 仁志,Abbas KHAYYER	81	Deep-learningを用いた海浜変形診断システム ○目野玄也,小林昭男,宇多高明ほか	158	海草場を対象とした環境DNAの季節変化と環境DNA分析における採水量の検討 ○赤塚 真依子,高山 百合子,Edwin Muchebveほか
8	斜面上の非線形性の振る舞いと最高波高の出現特性についての実験的研究 ○加島寛章,森信人	84	遼上域における漂砂量分布と汀線変化を考慮した3次元海浜変形モデル ○三木 脩平,黒岩 正光,梶川 勇樹	159	Feasibility study for seagrass beds monitoring using environmental DNA ○Muchebve Edwin,高山百合子,赤塚真依子ほか	
14:40-16:00	1-R1-4	森信人	1-R2-4	鈴木崇之	1-R3-4	桑江朝比呂
	IJ01	Phase-Coherent Amplification of Ocean Swells Over Submarine Canyons ○田村 仁,川口 浩二,藤木 峻	85	北条川放水路における河口閉塞対策検討のための地形変化モデルの構築 安本 善征,松井 俊樹,○小野 信幸ほか	160	砕波時における海岸林による波高減衰効果の数値モデリング手法の検討 ○田所彩花,渡部真史,有川太郎
	9	Application of Boussinesq Modeling on Water Waves through Mangroves ○Che-Wei Chang, N. Mori	88	平坦な干潟とリーフ縁辺部での安定した海浜縦断形の形成 ○渡部未樹久,宇多高明,小林昭男ほか	161	マングローブ・海草複合生態系による気候変動緩和のメカニズム~数値モデル解析~ 相馬明郎,○小西颯人,戸田慎治ほか
	10	博多湾で生じる副振動とそれによる浸水被害の可能性に関する研究 ○新見将輝,中川康之,井手喜彦ほか	89	相対的な海面上昇を経験した海岸における修正Bruun則による汀線変化予測 ○渡邊国広,加藤史訓,高木利光ほか	162	長期的なモニタリングによる造成時期が異なる人工岩礁性藻場の生物遷移 ○杉本憲司,高嶋ひかる,高田陽一ほか
12	Undertow Response under Low Wave Energy Conditions using XBeach ○K. Borribunnangkun, T. Suzuki	90	モノパイル式洋上風力発電機の基部における局所洗掘に関する実験的検討 有川太郎,○陳曉悦, Songgui Chenほか	164	南シナ海における河川起源マイクロプラスチック粒子の3次元広域海洋輸送について ○松下晃生,内山雄介,高浦育ほか	
16:20-17:40	1-R1-5	田島芳満	1-R2-5	山城賢	1-R3-5	遠藤徹
	18	シルトフェンスを2重に設置した際の汚濁物質拡散抑制効果の検討 ○田中みのり,渡部真史,町田昌彦ほか	97	RTK-UAVIによる砂礫海岸変動特性の解明 佐藤慎司,○長崎 由伽子,小塚 海奈里	151	八代海におけるブルーカーボン動態把握のための海水中CO ₂ に関する現地調査 ○齋藤直輝,熊柄,小森博仁ほか
	19	高潮発生時の越波・越流による護岸通過流量に関する研究 ○千綿 蒔,羽角 華奈子,織田 幸伸ほか	98	振動流下における砕石敷設によるアサリ定位効果の検証 ○佐藤 誠浩,南部 亮元,桑原 久実ほか	通常号	浅海生態系における年間二酸化炭素吸収量の全国推計 ○桑江朝比呂,吉田吾郎,堀正和ほか
	20	津波シミュレータT-STOCの静水圧・非静水圧モデルの高潮浸水解析に対する適用性 ○二村昌樹,川崎浩司,村上智一ほか	99	陸上遼上波による混合砂礫の移動特性および細礫分布形状の推定 鈴木崇之,○金子綾,比嘉紘士ほか	152	堆積泥に吸着する陽イオンを考慮した保水性の低減と吸着サイトの分類 ○下方 幹治, Kim Keyongmin, 日比野 忠史ほか
	21	低速台風に伴う伊勢湾西岸域の潮位上昇メカニズム 吉野 純,○山本 康平,小林 智尚	101	船津川と銚子川の合流部に形成される河口砂州の変動特性 中道 誠,○山本 隼也,今井 聡ほか	154	易分解性有機物を対象とした底泥浄化 ○太田 知志,吉村 一輝,中下 慎也ほか

その先の向こうへ
GOING FURTHER

1994年、広島県尾道にて創業した当社。遠征業務の開始と先進の設備投資をもって社会に貢献し、成長とともに発展してきました。新卒スタッフ一人一人に高い期待をもち、いまでも当社のDNAに引き継がれています。時代の変わり目でも変わらぬチャレンジスピリットと、時代の変化に応じた柔軟な自己革新力。現状に甘んじることなく、一歩一歩着実に前に進む。その先の向こうへ... 五洋建設

五洋建設株式会社
http://www.genta-ocean.jp/

つくる、ささえる、ととのえる。

東亜建設工業の仕事。それは、「つくる」こと。そして、皆様の暮らしを「ささえる」こと。さらに、環境を「ととのえる」こと。人と自然の調和をめざす私たちの技術は、様々なカタチで、いつも暮らしの中にかかっています。

東亜建設工業
〒163-1031 東京都練馬区西原2-1-1 新練馬センタービル10F
http://www.asia-constr.jp/

人と地球にあたたかな技術、ハートテクノロジー。

海の豊穡、大地の豊熟。そして都市の活気。地球の自然と快適な生活の調和こそ、私たちの願いです。人にあたたかな技術を追求し、夢を輝かなカタチに育て、感動の明日を築いていきます。

東洋建設
〒101-8501 東京都中央区銀座2-2-1 101ビル10F
http://www.toyoko-constr.jp

確かな技術で未来を創る

社会インフラ、防災、環境、サイエンス分野において、数値解析、システム構築、データ解析の専門技術を活かした高品質な技術サービスを提供いたします。

Hydroco
大阪本社 〒530-6126 大阪府北区中之島3-3-23 中之島ビル26F
TEL:06-679-3521 FAX:06-679-3522
東京支社 〒105-6031 東京都港区虎ノ門4-3-1 城山トラストタワー31F
TEL:03-6721-5507 FAX:03-6721-5506
九州支社 〒814-0001 福岡市早良区百道2-1-22 福岡SRPセンタービル10F
TEL:092-833-7700 FAX:092-833-7711

JAPAN Justice

株式会社ジャパンジャスティス

本社:〒443-0013 愛知県蒲郡市大塚町西屋敷 30-11
TEL:0533-56-8270
ホームページ:https://www.j-justice.co.jp/

第2日目:2020年11月11日(水) 第67回海岸工学講演会スケジュール

第1会場		第2会場		第3会場		
9:00-10:20	2-R1-1	太田隆夫	2-R2-1	有働恵子	2-R3-1	信岡尚道
	14	子吉川河口域で発生する塩水遡上に関する検討 渡辺一也,○谷口 隼也,齋藤 憲寿ほか	92	高波浪時の急激な冲向漂砂と静穏時の緩やかな砂浜回復応答の実測 ○石川仁憲,宇多高明,三波俊郎ほか	181	北海道東岸における爆弾低気圧に伴う高潮の擬似温暖化実験 吉野 純,○岩崎 大也,小林 智尚
	15	指宿港海岸における温泉地下水環境への養浜の影響 ○笠毛 健生,三宅 崇智,小野 信幸ほか	93	皆生海岸における台風1919号による海岸侵食被害と事前養浜の必要性についての考察 ○小坂田祐紀,石口孝幸,加藤憲一ほか	182	確率台風モデルを援用した瀬戸内海における高潮の統計的予測手法に関する研究 ○横山彼社,安田誠宏,金 洙列ほか
	16	粒子追跡モデルを用いた黒潮から沿岸域への物質輸送過程の評価 ○増永 英治,木村 和久,小裕 大地ほか	95	極浅海域の波浪と礫の移動から見た礫浜の応答特性に関する一考察 ○青木伸一,濱野智紀,中山太士ほか	183	畳み込みニューラルネットワークによる台風気象場を用いた高潮の時系列予測と長期評価 ○荒木裕次,安田誠宏,Adrean Webbほか
17	潮流強化に伴う鳴門の渦潮の発生機構に関する研究 ○内山雄介,Xu Zhang,柳瀬翔太	96	海浜トレンチ調査による砂礫海岸形成機構の解明 佐藤慎司,野口賢二,○与那嶺 瑞輝ほか	IJ06	Application of Recurrent Neural Network for Prediction of the Time-Varying Storm Surge Profile ○五十嵐雄介,田島芳満	
10:40-12:00	2-R1-2	渡部靖憲	2-R2-2	石川仁憲	2-R3-2	松山昌史
	IJ12	Coastal impacts of super typhoon Hagibis on the Greater Tokyo and Shizuoka areas Japan ○下園武範,田島芳満,熊谷健蔵ほか	103	鳥取県天神川における波と河川出水による河口砂州の地形変化について ○片山 崇,黒岩正光,山本真二ほか	207	津波数値計算および画像解析を用いた津波防災教育ツールの開発 三戸部 佑太,○佐瀬 一弥,木村 達也ほか
	23	東京湾および伊勢湾における2019年台風19号による想定最悪高潮の力学的評価 ○豊田将也,吉野純,林実里ほか	104	Mechanisms of formation and development of a new island in front of Thu Bon River mouth Quang Nam Province- Vietnam ○Duong C. Dien,Nguyen X. Tinh,H. Tanakaほか	208	茨城県沿岸における津波と高潮の統合リスク評価の基礎的検討 ○小林道彰,信岡尚道
	24	2019年台風19号の高潮再現および台風経路の再現期間と将来変化 ○澁谷容子,森信人,中條壮大ほか	IJ08	Shoreline changes along the northern Ibaraki Coast after the Great East Japan Earthquake 2011 ○Nguyen H. Quang,S. Takewaka,H.Kameda	209	津波シナリオバンクを用いた避難経路探索手法の検討 ○坂田祐介,鈴木直,有川太郎ほか
IJ04	Proposal of New Indexes for Development Characteristics of Storm Surge Considering Topographical Features and Tides ○井手喜彦,山城賢,橋本典明	105	東日本大震災津波後の北上川河口での漂砂移動とそのモデル化 ○Nguyen T. Hiep,田中仁,Nguyen X. Tinh	210	災害地名による津波被災リスク顕示性についての検討 ○宇野宏司,谷口夏海	
13:00-14:20	2-R1-3	平山克也	2-R2-3	渡邊国広	2-R3-3	富田孝史
	25	地形と成層の変化に関連する風応力による混合応答時間の評価 ○浅岡 大輝,増永 英治,小室 俊輔ほか	108	Collapse of sand spit at the Kalu River mouth in Kalutara- Sri Lanka ○Nguyen X. Tinh, C.Samarasuriya,H.Tanaka	211	高知県における津波碑の分類体系の試みと建立実態の評価分析 ○田畑佳祐,佐藤翔輔,谷川亘ほか
	26	波浪結合全球大気気候モデルによる波向・風向のずれを考慮した海面抵抗係数の台風統計量への系統的影響評価 ○志村智也,森信人,浦野大介ほか	109	多段砂州の組織的移動が波浪伝達特性に及ぼす影響に関する基礎的研究 ○村田 祐太,由比 政年,樺田 真也	213	防災公園と避難高台の比較に基づく津波避難施設の日常利用価値の評価分析 ○朝比奈朋美,安田誠宏,河野達仁ほか
	27	気液境界層流れの相互作用を経た風波の発生機構 渡部靖憲,○土屋裕嵩	235	ルミネッセンス法を用いた手取川起源土砂の移動評価 ○佐藤李咲,雁沢好博,柳井清治ほか	215	歩車相互作用を考慮したリンクコストと利用者均衡配分を使用した津波避難シミュレーション 森田 格,○ルベル ダス,櫻庭 雅明ほか
28	Deep Learning-Based Image Processing for Whitecaps on the Ocean Surface Y. Wang,Y. Sugihara,○H. Nakashimaほか	236	ルミネッセンス法を利用した養浜効果の評価手法の開発 ○蜜澤岳,雁沢好博,百瀬年彦	216	多様な津波被災データに基づく建物被害と人的被害の高度な推計法の検討 ○長谷川夏来,サツパシー アナワット,今村文彦	
14:40-16:00	2-R1-4	猿渡亜由未	2-R2-4	川崎浩司	2-R3-4	西畑剛
	29	Experimental investigation on the wind-driven surface flow associated with breaking waves Y. Wang,○Y. Sugihara,Y. Nakamuraほか	111	超大型浮体構造物の津波高さ低減効果 ○柿沼太郎,五十嵐陸,村上佳広	218	伊勢・三河湾における地震・津波がれきに対する航路啓開作業船量の分析 ○宮川晃希,富田孝史,平山修久
	30	台風Haiyanの高解像度計算における海洋・波浪の感度 ○二宮順一,竹見哲也,森信人	112	マウンド上被覆ブロックに作用する津波流体力に関する数値的検討 ○古市尚基,遠藤次郎,門安曇ほか	219	極近地津波における避難行動の実態調査と分析: 2019年6月山形県沖の地震津波の例 ○佐藤翔輔,今村文彦
	31	方向スペクトルの多峰性を考慮したスペクトル型波浪モデルの精度評価 ○藤木峻,森信人,川口浩二ほか	113	津波による浮遊船舶の防潮堤への衝突に関する実験的研究 ○織田 幸伸,本田 隆英,橋本 貴之	220	航空写真解析による津波瓦礫判別の広域適用に向けた検討 ○三戸部 佑太,今井 健太郎,橋本 隆司ほか
32	二山型スペクトル波の代表周期と代表波高の算定法に関する研究 安田誠宏,○森川湧太,間瀬 肇	114	横波段波津波を受ける係留船の波力に関する一考察 ○榊原繁樹,砂原俊之,阿部郁男ほか	221	火山噴火災害時の港湾BCP立案の基礎となる海域内降下火砕物の流動解析 ○浅野敏之,長山昭夫,加古真一郎	
16:10-18:30 海岸工学委員会						

その先の向こうへ
GOING FURTHER

1996年、広島県豊後市にて創業した当社。瀬戸内海の静寂と先達の建設技術をもって社会に貢献し、社名とともに成長してきました。新たなアワード・大会に挑戦し続ける心。いまでも社名の奥に在り続けています。時代の変わっても変わらぬ「チャレンジスピリット」。時代の変化に応じた柔軟な自己革新。思惟に甘んじることなく、一歩一歩着実に前に進む。その先の向こうへへ。五洋建設

五洋建設株式会社
http://www.penta-ocean.co.jp/

つくる、ささえる、ととのえる。

東亜建設工業の仕事、それは、「つくる」こと。そして、建物の暮らしを支えること。さらに、環境を「ととのえる」こと。人と自然の調和をめざす私たちの技術は、様々なカタチで、いつか暮らしの中に活かされています。

東亜建設工業
〒103-8231 東京都港区新橋3-1-1 東亜ビルディング
http://www.aia-corp.co.jp/

人と地球にあたたかな技術、ハートテクノロジー。

海の豊取、大船の船殻、そして都市の活気。地球の自然と豊かな生活の源にこそ、私たちの思いです。人にあたたかな技術を提供し、夢を輝かすカタチに育て、感動の明日を築いていきます。

東洋建設
〒110-8551 東京都台東区根岸1-10-105 東洋ビル
TEL: 03-5331-5450
http://www.toyokai.co.jp

確かな技術で未来を創る

社会インフラ、防災、環境、サイエンス分野において、数値解析、システム構築、データ解析の専門技術を活かした高品質な技術サービスを提供いたします。

HYDROCO
株式会社 ハイドロ総合技術研究所
〒105-8221 東京都港区芝5-2-22 福寿SRPセンタービル10F
http://www.hydroco.co.jp

大阪本社 〒530-6126 大阪府北区中之島3-3-23 中之島ダイビル26F
TEL: 06-6479-3621 FAX: 06-6479-3622
東京支社 〒105-6031 東京都港区虎ノ門4-3-1 福山トラストタワー31F
TEL: 03-6271-5500 FAX: 03-6271-5505
九州支社 〒814-0001 福岡県豊原区豊原2-2-22 福岡SRPセンタービル10F
TEL: 092-833-7700 FAX: 092-833-7711

JAPAN JUSTICE

株式会社ジャパンジャスティス

本社:〒443-0013 愛知県蒲郡市大塚町西屋敷 30-11
TEL: 0533-56-8270
ホームページ: https://www.j-justice.co.jp/

第3日目:2020年11月12日(木)

第67回海岸工学講演会スケジュール

	第1会場	第2会場	第3会場
9:00-10:20	3-R1-1 畑田佳男 IJ13 Post-event survey of locally concentrated disaster due to 2019 Typhoon Faxai along the western shore of Tokyo Bay Japan ○T. Suzuki,Y.Tajima,M.Watanabeほか	3-R2-1 小竹康夫 115 遡上津波先端部における漂流衝突速度の反射波による低減効果の検討 ○村瀬史弥,渡部真史,平石晃士ほか	3-R3-1 二宮順一 184 d4PDF/d2PDFにもとづく気候変動による熱帯低気圧強度の将来変化 ○森 壮太郎,森 信人
	33 東京湾における台風1915号による波浪スペクトル特性と対策施設整備の留意点 高橋 康弘,高山 知司,○鈴木 善光ほか	116 防波堤マウンドに作用する段波の水理特性と被覆ブロックの安定性に関する研究 ○野田智也,山中悠資,田島芳満ほか	IJ11 Robustness and uncertainties in global multivariate wind-wave climate projections J. Morim, M.Hemer,○森信人ほか
	34 超音波ドップラー式海象計で観測された方向スペクトルの安定性と信頼性の向上 ○橋本典明,三井正雄,川口浩二ほか	118 津波の流れに対するマウンド被覆ブロックの質量算定法に関する実験的検討(その2) ○加藤広之,古市尚基,門安量ほか	185 陸域一海域統合モデルを用いた瀬戸内海の流動場・通過流への気候変動影響予測 ○吉成浩志,東博紀,中田聡史
	35 波高発達率を用いた確率波の周期の推定方法 ○田中陽二	119 建築年代を含めた建物津波被害の実態分析とそれを考慮した津波被害関数 ○宮本 龍,Anawat SUPPASRI,今村 文彦	186 気候変動観測衛星GCOM-C/SGLIによる沿岸域に特化した大気補正手法の考案 ○中山大雅,比嘉敏士,緒方一紀ほか
	3-R1-2 五十里洋行 36 非構造格子系を用いた流れから波浪1-wayカップリングモデルの開発に関する研究 ○山縣史朗,川添僚太,井手喜彦ほか	3-R2-2 渡辺一也 120 数値波動水槽とビジネスモデルを用いた人工リーフ改良に関する研究 ○高木 利光,松島 三郎,座波 健仁	3-R3-2 中條壮大 187 海洋表層混合を考慮した全球大気・波浪・海洋結合モデルによる台風強度特性の評価 ○浦野大介,森信人,志村智也ほか
40 アンサンブル学習ニューラルネットワークを用いた富山湾沿岸波浪推算モデルの開発 ○増田 和輝,二宮 順一,斎藤 武久	121 人工リーフ改良(離岸堤化)の構造形式・整備効果に関する実験的・数値的検討 ○中道 誠,岩佐 隆広,高山 靖史ほか	188 海面上昇に伴う淡路島沿岸砂浜の消失将来予測と支配要因についての検討 宇野宏司,○重松直樹,柿木哲哉	
41 アンサンブルカルマンフィルタによる船舶観測データを用いた波浪推算手法の開発 ○藤原和弘,白井知輝,大宮知起ほか	123 消波ブロックの形状の違いがエネルギー減衰に及ぼす影響に関する開水路実験 ○東良慶,村田誠,松下紘資ほか	189 自己組織化マップを用いた台風来襲時における降水量の将来変化に関する検討 ○柴田 大輝,児玉 充由,井手 喜彦ほか	
42 WRFを用いた高潮・波浪予測計算の計算時間及び予測精度についての検討 ○白井知輝,藤原和弘,渡部真史ほか	124 Applicability of multi-layer wave model for prediction of circulating current field around a submerged breakwater ○Dilan Rathnayaka,Y.Tajima	190 気候変動に伴う日本周辺海域を対象とした海面上昇量の予測不確実性 ○宮内海峰,森信人,志村智也ほか	
43 台風熱収支に対する海洋表層混合の碎波パラメタリゼーションの応答 ○高木雅史,森信人,二宮順一			
13:00-14:20	3-R1-3 高川智博 44 南海トラフ巨大地震の3次元津波伝播シミュレーション ○大石裕介,新出孝政,山崎崇史ほか	3-R2-3 片山裕之 126 楕円体の設置姿勢がその近傍の流況特性に及ぼす影響に関する実験的研究 ○山村雄司,重松孝昌,中條壮大	3-R3-3 山中亮一 191 全球確率台風モデルを用いた将来の台風特性の都市域スケールでの評価 ○中條壮大,森信人
	45 透過性防波柵による背後域の津波遮蔽効果に関する数値解析 ○上野卓也,由比政年,榎田真也ほか	127 高天端人工リーフの水理特性に関する検討 ○岩佐隆広,二階堂竜司,平間史泰ほか	194 サンゴ礁海岸における海面上昇による汀線後退量の簡易推定法と小島嶼国での影響検討 ○大中 晋,芹沢 真澄,宇多 高明ほか
	46 日本海西部域における1833年庄内沖地震津波の広域沿岸挙動に関する研究 ○山中悠資,島津希来,下園武範ほか	128 透過型人工リーフの水理学的特性に関する研究 ○宮里信寿,仲座栄三,田中聡ほか	195 沖ノ島における高波起源の巨礫分布の水理学的検討 ○渡部真史,清野聡子,徳永正吾ほか
	48 三次元粒子法型数値波動水槽を用いた防波堤堤頭部における巨大津波流れに関する検討 ○久保田博真,鶴田修己,千田優ほか	125 没水した多孔質体周辺および内部の流動とせん断速度に波周期の変化が及ぼす影響 中條壮大,○小塚泉,重松孝昌	197 漂流パイロメーターで示された天皇山山列から琉球諸島方面へ移動する漂流漁船の可能性 ○嶋田陽一
14:40-16:00	3-R1-4 嶋原良典 50 津波荷重評価に用いる水深係数のモード分解による空間的不確実性評価 ○福谷陽,森口周二,寺田賢二郎ほか	3-R2-4 柿木哲哉 129 設置前後の汀線変化実態や海浜流計算に基づく人工リーフの平面配置に関する検討 ○岩田伸隆,加藤史訓,片野明良ほか	3-R3-4 武田将英 198 2017年8月に銭函海岸の離岸堤付近で発生した水難事故の発生要因の把握 犬飼 直之,○南原 充,安倍 淳ほか
	51 津波避難ビル等の透過構造物に対する漂流物衝突に関する実験 ○野島和也,桜庭雅明,小谷拓磨ほか	131 実設計への利用を考慮した耐衝撃波圧の部材設計方法の評価 ○安藤圭,鈴木高二郎,森信人	199 水難事故防止のための静岡県高松海岸における遡上波浪の挙動把握 ○犬飼 直之,四家 哲人,安倍 淳ほか
	53 漂流物と流れ場の時空間計測データを用いた複雑流れ場における津波漂流物挙動の解析 ○千田 優,福井 信気,森 信人ほか	132 三次元流体解析を用いた棧橋に生じる揚圧力の定量的評価 ○岡本大史,大久保寛,笠原宏紹ほか	200 IDに基づく防災教育の設計・評価に関する一考察 ~青赤紙を用いた率先避難訓練を事例に~ 松重摩耶,上月康則,○河野有咲ほか
	54 リアルタイム津波予測のための台風接近時における海底津波計データの解析 ○松本浩幸,柄本邦明,今井健太郎ほか	133 消波工の断面変形および偶発波浪による作用波力の増大とその対策に関する検討 ○太田隆夫,金 洙列,中原修一郎	201 津軽海峡における潮流発電装置の機械及び発電特性の評価 ○藤原 亮,蛭子 翼,宮武 誠ほか
	3-R1-5 安田誠宏 55 遺伝的アルゴリズムによる沖合津波観測点配置の多目的最適化 ○倉本和俊,牧野嶋文泰,Anawat Suppasriほか	3-R2-5 榎田真也 135 洋上風力発電施設を対象とした大径杭基礎に働く波力と打上げ高に関する研究 ○橋本 貴之,本田 隆英,織田 幸伸ほか	3-R3-5 北野利一 202 一樣流中において回転する円柱に働く流体力の三次元性に関する実験的研究 ○鈴木雅洋,居駒知樹,相田康洋ほか
56 広域の津波痕跡記録を活用した2004年スマトラ島沖地震津波の再現計算 ○保坂幸一,松山昌史,森勇人	136 消波ブロック1層被覆式傾斜堤の港内側被覆ブロックの耐波浪特性に関する実験的研究 ○高橋 研也,佐貫 宏,菅原 弘貴ほか	203 One Year Verification of Wave Predictions by Deep Learning using Xception ○Tracey H. A. TOMA, Ikemoto, H. Maseほか	
IJ03 Estimating sources of submarine landslide induced by the 2018 Sulawesi earthquake and tsunami inside the Palu Bay ○永井香織, A.Muhari, P.Kwanchaiほか	138 SPH法による消波ブロック群の移動解析の試み ○三井 順久,保田 真一,松本 朗	204 SOMを用いた北部九州・中国地方で高潮災害を引き起こした気象場パターンの分類 ○朝位孝二,西山浩司,白水元ほか	
IJ05 Physical Modelling of Tsunamis Generated by Subaerial, Partially Submerged and Submarine Landslides ○高島知行, MAELL Martin, HAN Dawn Chenxiほか	139 起重機船から吊り下げた鋼板セルの動揺特性 ○倉原 義之介,小泉 博之,西山 大和ほか	205 対象地点に着目した資料による確率的台風モデルの基礎的研究 ○信岡尚道,佐藤直宗	
49 適合格子細分化法を用いた南海トラフ沿いの巨大地震津波の数値計算 ○宮下卓也, O. Gomez-Ramos, 森信人		206 Study on Probabilistic Inundation Hazard along the coast of South Pacific Islands: Case study at Lakeba Island in Fiji 田島芳満,○陣子拓実,谷口健司	

その先の向こうへ
GOING FURTHER

1964年、広島県呉市にて創業した当社は、遠く東部の精神と先進の建設技術をもって社会に貢献し、社会とともに成長してきました。新たなフィールドへ常に挑戦し続ける心は、いつでも日本のDNAに引き継がれています。時代の変わりゆく東部の心は、チャレンジスピリットと、時代の変わりゆく心は、柔軟な自己更新力。親しい間柄を大切に、一歩一歩確実に前進。その先の向こうへ...五洋建設

五洋建設株式会社
http://www.penta-ocean.co.jp/

つくる、ささえる、ととのえる。

東洋建設工業の仕事。それは、「つくる」こと。そして、確かな暮らしを「ささえる」こと。さらに、環境を「ととのえる」こと。人と自然の調和をめざす私たちの技術は、様々なカタチで、いつも暮らしの隅に活かされています。

東洋建設工業
〒105-8588 東京都港区新橋3-1-1 東洋建設ビル11F
http://www.toyoko-constr.co.jp/

人と地球にあたたかな技術、ハートテクノロジー。

海の豊取、大地の豊熟、そして都市の活気。地球の自然と快適な生活の調和こそ、私たちの願いです。人とあたたかな技術を追求し、夢を確かなカタチに育て、感動の明日を築いています。

東洋建設
〒105-8588 東京都港区新橋3-1-1 東洋建設ビル11F
http://www.toyoko-constr.co.jp/

確かな技術で未来を創る

社会インフラ、防災、環境、サイエンス分野において、数値解析、システム構築、データ解析の専門技術を活かした高品質な技術サービスを提供いたします。

河川水理
海洋水理
環境水理
氾濫防災
下水道
防犯・地盤
情報システム
GISデータ処理
総合防災
科学技術

河川内における河川敷の3次元化解析
高層解析(断面図)

HYDRO
株式会社 ハイドロ総合技術研究所
(旧)株式会社ハイドロソフト技術研究所
https://www.hydrosofen.co.jp

大阪本社 〒530-8126 大阪府北区中之島3-3-23 中之島ダイビル26F
TEL:06-6479-2621 FAX:06-6479-3622
東京支社 〒105-6031 東京都港区虎ノ門4-3-1 城山トラストタワー31F
TEL:03-6721-5507 FAX:03-6721-5506
九州支社 〒814-0001 福岡市早良区百道2-1-22 福岡SRPセンタービル6F
TEL:092-833-7700 FAX:092-833-7711

JAPAN JUSTICE

株式会社ジャパングスティス

本社:〒443-0013 愛知県蒲郡市大塚町西屋敷 30-11
TEL:0533-56-8270
ホームページ:https://www.j-justice.co.jp/

第4日目:2020年11月13日(金) 第67回海岸工学講演会スケジュール

第1会場		第2会場		第3会場		
9:00-10:20	4-R1-1	有川太郎	4-R2-1	木原直人	4-R3-1	駒井克昭
	58	海底地滑りによる津波の初期波形設定上の留意点と効率的計算方法に関する検討 ○木場正信,由比政年	140	航跡波を考慮した港内静穏度解析の試み ○平山克也,濱野有貴,西受由裕ほか	169	水質解析におけるデータ同化性能に水質モデルの再現性が及ぼす影響 ○入江 政安,井上 凌,岡田 輝久
	60	津波波源モデルにおけるすべり量とライズタイムとの関係に関する検討 ○加藤 勝秀,森 勇人,佐藤 嘉則ほか	141	現地観測による2019年台風19号接近時のうちあげ高予測の検証 ○加藤史訓,福原直樹	170	潮差が異なる砂浜潮間帯に生息する底生等脚類の岸沖分布と地盤環境適合場の一般性 ○梁 順普,佐々 真志,工代 健太ほか
	61	確率津波シミュレーションに係るサンプルサイズの決め方 ○北野利一,安田誠宏,福谷 陽	143	2019年台風15,19号時の東京湾における船舶の漂流距離と停泊位置に関する研究 ○徳永正吾,黒澤一真,渡部真史ほか	171	堆積物中の形態別炭素に着目した都市沿岸部の炭素貯留効果に関する研究 ○遠藤 徹,早光 孝稀,北野 勇太郎ほか
62	ランダムフェーズモデルを用いた徳島県沿岸の津波水位の確率評価に関する研究 安田誠宏,○田中晴規,繁田航平ほか	144	地表面変位観測による地盤内の空洞陥没の予知および吸い出し抑止法の検討 ○工代健太,佐々真志,梁順普ほか	173	シールド発生土に含まれる陰イオン界面活性剤の生分解特性 ○大西 晃輝,野口 孝俊,小野寺 克幸ほか	
10:40-12:00	4-R1-2	越村俊一	4-R2-2	中山恵介	4-R3-2	中下慎也
	63	沿岸市街地モデルを用いた津波・高潮浸水実験と解析 ○福井信気,森信人,Che-Wei Changほか	148	中空円筒型スカート基礎の浸透による貫入挙動に関する小型模型実験および解析評価 ○小山宏人,前田健一,鈴木悠真ほか	174	生物応答を利用したシールド発生土の安全性の評価 ○三戸 勇吾,大西 晃輝,野口 孝俊ほか
	64	東日本大震災における宮城県自治体での被害特性と死因傾向の考察 ○鎌田,門廻充侍,芹川智紀ほか	149	降雨及び潮位観測値を用いた海岸堤防下の地下水位推定手法の提案 ○福原直樹,加藤史訓,南部卓也ほか	175	沿岸域における海生生物の分布とシースケープとの関係 ○秋山吉寛,内藤了二,吉村香菜美ほか
	65	土砂・シルトを含んだ津波の波力に関する実験的研究 ○木瀬晃周,有川太郎	150	50年間海中暴露した摩擦増大用アスファルトマットの耐久性評価 安達 昭宏,中川 耕三,○山本 修司ほか	177	ホンビノスガイの貧酸素環境耐性およびへい死量推定に関する検討 ○遠藤 雅実,佐々木 淳
66	津波遡上への氾濫水密度の影響 ○松富英夫,有川太郎	226	光ファイバを用いた地盤高計測および濁度推定手法の白川河口干潟への適用性検討 ○山野 貴司,黒田 直人,辻本 剛三ほか	178	エゾアワビをモデルとした人エリーフの水産協調効果に関する研究 ○中谷鷹,瀬戸雅文,巻口範人	
13:00-14:20	4-R1-3	柿沼太郎	4-R2-3	井上徹教	4-R3-3	中谷祐介
	67	津波の下での底面境界層のflow regimeに関する研究 ○田中 仁,Nguyen Xuan Tinh	227	多波長イメージ分光放射計を用いた干潟の底生珪藻観測に関する基礎的検討 ○仁木将人,丹佑之,田中昭彦ほか	179	経験的固有関数展開法に基づく日本沿岸の海水光学特性の時空間変動解析 ○八木 宏,村上 浩,磯崎 由行
	68	津波による海岸砂丘の変形に関する模型実験 ○奥谷 哲也,平石 哲也	237	フナフチ環礁フォンガファレ島を対象としたディープラーニングによる海岸堆積物分類モデルの構築 ○佐藤大作	180	分岐を有するSubmerged Aquatic Vegetationモデルの開発 ○佐々木 大輔,中山 恵介,新谷 哲也ほか
	69	巨大津波特性と津波堆積物の土砂供給限に関する数値解析—2004年インド洋大津波と2011年東北地方太平洋沖地震津波— ○榎谷亮太,山下啓,Suppasri Anawatほか	228	駿河海岸における各種モニタリング手法の適用性及び活用法の検討 ○中園大介,杉澤文仁,曾根泰輔ほか	192	RCP8.5シナリオに基づく瀬戸内海の一次生産および水質への気候変動影響予測 ○東博紀,横山亜紀子,中田聡史ほか
70	津波・高波による巨礫移動現象の数値モデルを用いた検討 ○木曾哲志, 安田誠宏, A.Kennedyほか	230	東京湾における水中物質の光学的特徴分類に基づく生物光学モデルの構築及び固有光学特性推定手法の検証 ○藤田夏菜子,比嘉紘士,中村由行ほか	193	植物の遷移戦略を踏まえた順応的管理に向けた海浜植生の将来消失予測 宇野宏司,○木元峻,柿木哲哉	
14:40-16:00	4-R1-4	中村友昭	4-R2-4	小笠原敏記	4-R3-4	中川康之
	72	海底基盤データを利用した津波移動床解析の改善の試み—気仙沼湾での事例— ○山下啓,菅原大助,有川太郎ほか	233	海岸保全施設の点検におけるUAVグリーンレーザ計測の適用性 ○中山真二,折谷佳城,竹下哲也ほか	222	バングラデシュ南東部に建設中の深海港における航路埋没モニタリング ○佐貫 宏,黒滝秀平,Kevin Bobilesほか
	73	米国ワシントン州ディスカバリー湾における1964年アラスカ地震津波による地形変化 ○渡邊凌生,Sappasri Anawat,今村文彦ほか	IJ14	Dependence of ocean-wave measurements based on high-frequency radar systems on sea surface salinity in estuary regions ○片岡智哉,藤木峻,村上裕幸ほか	223	泥炭地海岸の崩壊泥炭に由来する沿岸海中への溶存有機物の流出 ○山本 浩一,渡辺 真優子,香川 拓輝ほか
	82	遡上津波による円柱周辺の局所洗掘現象に関する三次元数値解析 ○梶川勇樹,武田将英,黒岩正光	232	浮標の画像解析を用いた波浪の波向き算定法 ○古畑亜佑美,山野貴司,下園武範ほか	224	離岸流検出のための画像平均化の適切な解析時間の検討 ○島田良,石川仁憲,小峯力
117	取水施設における3次元津波砂移動解析 有光剛,○川崎浩司,二村昌樹	234	風波水槽での吹走距離延長のためのループ法の開発—気流・波ハイブリッドループ法の構築— ○上村友祐,高垣直尚,鈴木直弥	225	バイズ推定を用いた海底地形データの融合手法に関する研究 ○岡辺拓巳,下園武範,武若聡ほか	

1994年、広島県尾道市にて創業した当社は、遠く先国の神島と九島の建設現場をもちょう社会に貢献し、成長と発展を遂げました。

最新のフリーソフトに最先端の技術と、いまでも当社のDNAに引き継がれています。

時代の変わりも変わらぬチャレンジスピリットと、時代の変化に応じた柔軟な自己革新力。

現状に甘んじることなく、一歩一歩進め、常に進化、その先へのつなぐ一歩を踏み出します。

その先の向こうへ
GOING FURTHER

五洋建設株式会社
http://www.gento-ocean.co.jp/

つくる、ささえる、とのえる。

東亜建設工業の仕事、それは、「つくる」こと。そして、建物の暮らしをささえること。さらに、環境を「とのえる」こと。人と自然の調和をめざす私たちの技術は、様々なカタチで、いつも暮らしの中活かされています。

東亜建設工業
〒163-1031 東京都練馬区練馬3-1-1 東亜ビルディング
http://www.taiyasei.co.jp/

人と地球にあたたかな技術、ハートテクノロジー。

海の豊か、大船の移動、そして都市の活気。地球の自然と人間と経済の調和を、私たちが創っています。人にあたたかな技術を提供し、夢を輝かせるカタチに育て、感動の明日を築いていきます。

東洋建設
〒110-0211 東京都千代田区千代田1-10-105 東洋ビル
TEL: 03-6331-5450
http://www.toyokai.co.jp

確かな技術で未来を創る

社会インフラ、防災、環境、サイエンス分野において、数値解析、システム構築、データ解析の専門技術を活かした高品質な技術サービスを提供いたします。

河川水理
海岸水理
環境水理
氾濫防災
下水道
防備・地盤
情報システム
GISデータ処理
総合防災
科学技術

河川内における橋脚周辺の3次元流況解析
高層解析（断面図形）

HYDRO

株式会社 ハイドロ総合技術研究所
(旧)株式会社 ハイドロ(ア)技術研究所
http://www.hydrosoken.co.jp

大阪本社 〒530-6126 大阪市北区中之島3-3-23 中之島ビル26F
TEL:06-6479-3621 FAX:06-6479-3622
東京支社 〒105-6031 東京都港区虎ノ門4-3-1 虎ノ門トラストタワー31F
TEL:03-6721-5507 FAX:03-6721-5506
〒814-0801 福岡県早良区早良2-1-22 福岡59Pセンタービル10F
九州支社 TEL:092-833-7700 FAX:092-833-7711

JAPAN JUSTICE

株式会社 ジャパンジャスティス

本社:〒443-0013 愛知県蒲郡市大塚町西屋敷 30-11
TEL:0533-56-8270
ホームページ:https://www.j-justice.co.jp/